

# 魅力あるまち② / 文化の史跡を訪ねて



旧石器を用いた人の痕跡が残り、3万年以上もの歴史がある所沢。市内各所には多くの文化財があります。皆さんがお住まいの地域にも、先人たちが残してくれた貴重な財産があるかもしれません。歴史や文化を肌を感じながら、ふるさと所沢の史跡を訪れてみませんか。



## 西エリア



こんじょういん 金乗院 (山口観音) (上山口2203)

千手観音や六歌仙図大絵馬など、数多くの文化財を有する真言宗の寺院で、狭山三十三観音霊場第一番札所でもあります。



木造千手観音立像



きたの てんじんじや 北野天神社 (小手指元町3-28-44)

物のべてんじんじや 物部天神社、くにいちぎじんじや 国渭地祇神社、てんまんてんじんじや 天満天神社の総称で、北野という地名の由来になった神社です。社伝によればやまとたけるのみこと 日本武尊が東征の折に創祀したのに始まるとされています。



おのけしゅうたく 小野家住宅 (林2-426-1)

開拓農家の住まいとして、18世紀初め頃に建てられました。木造平屋建ての入母屋造り、茅葺屋根の建物で、当時の典型的な農家の間取りとなっており、国の重要文化財に指定されています。



いろりに火を入れる日も

他にもこんな文化の史跡があります



多宝塔 (上山口2213)



中氷川神社 (三ヶ島5-1691)

## 中央エリア



とろさわしんめいしや 所澤神社 (宮本町1-2)

旧所沢町の鎮守で、熊手市や人形供養の神社として有名です。境内の樹齢200年の大ケヤキは、市の巨樹・巨木に認定されています。



くまのじんじや 熊野神社 (西新井町17-33)

旧下新井村の鎮守社で、12月には藁で作った蛇を鳥居に飾る「若注連神事」が行われます。



藁で作った蛇

## 中央エリア & 東エリア

### 三富新田

市域北部の中富・下富、三芳町の上富を合わせた「三富」は、江戸時代(1600年代後半)に川越藩によって新田開発が進められた地域です。現在でもその名残として、短冊状の区割りを目にすることができます。



## 東エリア



おうりんかく 黄林閣 (坂之下437)

「電力の鬼」といわれた実業家松永安左エ門が、別荘として移築しました。江戸時代天保期の民家の特色が残り、国の重要文化財に指定されています。



松永安左エ門



たもんいん 多聞院 (中富1501)

三富新田開拓の際に、村民の祈願所として創建されました。境内に建つ多聞院毘沙門堂の本尊は、武田信玄の守り本尊といわれる純金の毘沙門天で、毎年5月1日に「寅まつり」が開催されます。



身代わり寅